

新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業状況調査及び ICT の活用環境調査等の結果をとりまとめました。また、これらの調査結果を踏まえ、やむを得ず学校に登校できない児童生徒等に対する学習指導等に関する基本的な考え方等について、改めて整理しましたので、お知らせします。

事 務 連 絡
令和 4 年 2 月 4 日

各都道府県・指定都市教育委員会総務課
各都道府県教育委員会専修学校主管課
各都道府県私立学校主管部課
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課
各文部科学大臣所轄学校法人担当課
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課
各都道府県・指定都市・中核市認定こども園主管課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

御中

文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課
文部科学省初等中等教育局教育課程課
文部科学省初等中等教育局修学支援・教材課
文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム

新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業状況調査
及び ICT の活用環境調査等の結果並びにやむを得ず学校に
登校できない児童生徒等に対する学習指導等について

今般の新型コロナウイルス感染症の感染の急速な拡大に伴い、各学校の状況に応じて行われる臨時休業の増加が見られる状況です。

この度、全国における臨時休業の実施状況及び ICT の利活用状況を把握するため、各教育委員会の御協力により、「新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業状況調査」(別紙 1)、「臨時休業等の非常時における端末の持ち帰り学習に関する準備状況調査」(別紙 2) 及び「高等学校における学習者用コンピュータの整備状況」(別紙 3) に関する調査を実施し、その調査結果を取りまとめました。また、これらの調査結果を踏まえ、やむを得ず学校に登校できない児童生徒等に対する学習指導等に関する基本的な考え方等について、下記のとおり改めて整理しました。

各学校においては、これまでも感染症対策を講じながら、子供たちの健やかな学びを保障するための取組を進めていただいていると承知していますが、下記を踏まえ、引き続き、このような状況下においても児童生徒等の学びを止めないという観点から、積極的な御対応をお願いします。

なお、公立学校における臨時休業期間中の学習指導に関する取組については、追って調査を行うことを予定していることから、その際は御協力いただきますようお願いします。

都道府県・指定都市教育委員会担当課におかれては所管の学校（高等課程を置く専修学校を含み、大学及び高等専門学校を除く。以下同じ。）及び域内の市（指定都市を除く。）区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の学校法人等を通じて、その設置する学校に対して、国公立大学法人担当課におかれてはその設置する附属学校に対して、文部科学大臣所轄学校法人担当課におかれてはその設置する学校に対して、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社及び学校に対して、都道府県・指定都市・中核認定こども園主管課におかれては、所轄の認定こども園及び域内の市（指定都市及び中核市を除く。）区町村認定こども園主管課に対して、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課におかれては所管の高等課程を置く専修学校に対して、本件を周知されるようお願いいたします。

記

1 基本的な考え方

臨時休業等によりやむを得ず学校に登校できない児童生徒等に対しては、学習に著しい遅れが生じることのないようにするとともに、規則正しい生活習慣を維持し、地域や学校、児童生徒等の実情等を踏まえながら、学校において必要な措置を講じることが重要であること。特に、一定の期間児童生徒等がやむを得ず学校に登校できない場合などには、指導計画等を踏まえた教師による学習指導と学習状況の把握を行うことが重要であること。

また、教職員間で感染が拡大しており、授業を行う教師が出勤できない状況においては、児童生徒等の学びの継続の観点から、主幹教諭や教頭等が授業を行う等の工夫をとりつつ、特に、感染等により校内の教師で授業を行うことが困難な場合には、教育委員会と連携し、一時的に必要な教師を確保することも考えられること。

以上のほか、やむを得ず学校に登校できない児童生徒等に対する学習指導については、以下に示す通知等も参照されたい。

- ・「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン」（令和3年2月19日）の「5 学習指導等」
- ・「感染症や災害の発生等の非常時にやむを得ず学校に登校できない児童生徒等の学習指導について（通知）」（令和3年2月19日付け2文科初第1733号初等中等教育局長通知）

2 ICTを活用した学習指導等について

GIGAスクール構想によって整備された学習者用情報端末（以下「ICT端末」という。）を自宅等に持ち帰り、オンラインによる朝の会や健康観察で会話する機会を確保したり、ICT端末に学習課題等を配信することで自宅学習を促進したり、同時双方向型のウェブ会議システムを活用して教師と自宅等をつないだ学習指導等を行ったりするなど、登校できなくても学校と自宅等をつなぐ手段を確保し、児童生徒等の住んでいる地域によって差が生じることのないよう、児童生徒等とコミュニケーションを絶やさず学びを止め

ないようにする取組を行うことが重要であること。

今般、別紙2のとおり、「臨時休業等の非常時における端末の持ち帰り学習に関する準備状況調査（令和4年1月末時点）」の結果を取りまとめたところであり、新型コロナウイルス感染症の拡大期にあつて、いまだ準備中としている学校については、学校設置者と連携して早急に準備を整え、臨時休業等の非常時にあつても児童生徒等の学びを止めないという観点から、積極的に取り組んでいただきたいこと。

その際、やむを得ず学校に登校できない児童生徒等へのICTを活用した学習指導が円滑に実施できるよう、「やむを得ず学校に登校できない児童生徒等へのICTを活用した学習指導等について」（令和4年1月12日付け文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム事務連絡）において、チェックリストや自治体の事例等を周知し、積極的な取組を促進してきたところであり、このたび、別紙4のとおり、オンラインと対面のハイブリッドで学習指導を行う自治体の実践事例を新たに追加しているため、こちらも参照すること。

また、併せて、別紙3のとおり「高等学校における学習者用コンピュータの整備状況について（令和4年度見込み）」として、調査結果を取りまとめているため、本調査結果も参照していただき、更なる積極的な取組を要する学校設置者におかれては、引き続き新高校1年生も含む学習者の視点に立ったICT活用環境整備の加速を進めていただきたいこと。

- 別紙1 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業状況調査の結果について（令和4年1月26日時点）
- 別紙2 臨時休業等の非常時における端末の持ち帰り学習に関する準備状況調査（令和4年1月末時点）
- 別紙3 高等学校における学習者用コンピュータの整備状況について（令和4年度見込み）
- 別紙4 ICTを活用した学習指導の参考となる事例

<本件連絡先>

文部科学省：03-5253-4111（代表）

- 臨時休業状況調査に関すること
初等中等教育局 健康教育・食育課（内 2690）
- ICTの活用環境に関すること
初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム（内 2656）
- ICT環境の整備に関すること
初等中等教育局修学支援・教材課（内 2004）
- やむを得ず学校に登校できない児童生徒等の学習指導に関すること
初等中等教育局 教育課程課（内 2368）
- 一時的に必要な体制の確保に関すること
初等中等教育局 初等中等教育企画課（内 4678）

新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業状況調査の結果について

令和4年2月4日
文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課

以下は、公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における「特定の学年・学級の臨時休業を行っている学校」「学校全体の臨時休業を行っている学校」(令和4年1月26日現在)について、集計したものです。

1. 学校種別の状況

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
特定の学年・学級の臨時休業を行っている学校	41校 (1.4%)	3,044校 (16.2%)	1,038校 (11.4%)	510校 (14.3%)	94校 (8.6%)	4,727校 (13.3%)
学校全体の臨時休業を行っている学校	75校 (2.6%)	653校 (3.5%)	219校 (2.4%)	127校 (3.6%)	40校 (3.7%)	1,114校 (3.1%)

※一定期間臨時休業を行った学校について、次回調査(2/9)と同時に、オンライン学習等のような方法で学びの継続を図ったかの状況調査を実施予定。

2. 都道府県別(全ての学校種)の状況

	特定の学年・学級の臨時休業を行っている学校	学校全体の臨時休業を行っている学校		特定の学年・学級の臨時休業を行っている学校	学校全体の臨時休業を行っている学校
北海道	279校 (15.0%)	29校 (1.6%)	滋賀県	79校 (16.4%)	38校 (7.9%)
青森県	24校 (4.8%)	11校 (2.2%)	京都府	188校 (29.1%)	17校 (2.6%)
岩手県	4校 (0.7%)	8校 (1.4%)	大阪府	388校 (21.1%)	173校 (9.4%)
宮城県	4校 (0.5%)	35校 (4.8%)	兵庫県	378校 (24.9%)	42校 (2.8%)
秋田県	21校 (5.9%)	21校 (5.9%)	奈良県	110校 (24.7%)	15校 (3.4%)
山形県	9校 (2.3%)	21校 (5.3%)	和歌山県	31校 (7.1%)	8校 (1.8%)
福島県	26校 (3.1%)	22校 (2.7%)	鳥取県	1校 (0.5%)	18校 (8.8%)
茨城県	112校 (12.6%)	28校 (3.2%)	島根県	65校 (16.2%)	109校 (27.2%)
栃木県	64校 (11.0%)	12校 (2.1%)	岡山県	39校 (4.9%)	3校 (0.4%)
群馬県	77校 (12.6%)	16校 (2.6%)	広島県	91校 (10.9%)	15校 (1.8%)
埼玉県	366校 (25.2%)	22校 (1.5%)	山口県	22校 (4.3%)	29校 (5.7%)
千葉県	211校 (15.4%)	22校 (1.6%)	徳島県	0校 (0.0%)	22校 (5.9%)
東京都	374校 (16.4%)	15校 (0.7%)	香川県	19校 (5.8%)	5校 (1.5%)
神奈川県	331校 (22.1%)	59校 (3.9%)	愛媛県	0校 (0.0%)	13校 (2.6%)
新潟県	47校 (5.8%)	28校 (3.5%)	高知県	5校 (1.4%)	7校 (2.0%)
富山県	8校 (2.5%)	3校 (0.9%)	福岡県	400校 (32.5%)	39校 (3.2%)
石川県	26校 (7.6%)	26校 (7.6%)	佐賀県	23校 (7.6%)	2校 (0.7%)
福井県	3校 (0.9%)	27校 (8.3%)	長崎県	36校 (6.3%)	5校 (0.9%)
山梨県	5校 (1.7%)	5校 (1.7%)	熊本県	66校 (11.1%)	16校 (2.7%)
長野県	48校 (7.4%)	20校 (3.1%)	大分県	32校 (6.3%)	12校 (2.4%)
岐阜県	90校 (13.1%)	8校 (1.2%)	宮崎県	13校 (3.2%)	19校 (4.6%)
静岡県	78校 (7.4%)	13校 (1.2%)	鹿児島県	33校 (4.0%)	5校 (0.6%)
愛知県	389校 (23.8%)	16校 (1.0%)	沖縄県	81校 (13.1%)	30校 (4.9%)
三重県	31校 (4.6%)	5校 (0.7%)	計	4,727校 (13.3%)	1,114校 (3.1%)

- ・「特定の学年・学級の臨時休業」と「学校全体の臨時休業」は重複しない。
- ・学校数について、分校は1校とし、休校している学校は調査対象外。
- ・域内教育委員会が把握している学校数を都道府県教育委員会が集計。
- ・括弧内(%)は域内の全学校数に占める「特定の学年・学級の臨時休業を行っている学校」または「学校全体の臨時休業を行っている学校」の割合。

公立学校臨時休業状況調査(令和4年1月26日時点)

都道府県名	幼稚園			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校			計		
	特定の 学年・学級 の臨時休業 を行っている 学校数	学校全体の 臨時休業 を行っている 学校数	全学校数	特定の 学年・学級 の臨時休業 を行っている 学校数	学校全体の 臨時休業 を行っている 学校数	全学校数	特定の 学年・学級 の臨時休業 を行っている 学校数	学校全体の 臨時休業 を行っている 学校数	全学校数	特定の 学年・学級 の臨時休業 を行っている 学校数	学校全体の 臨時休業 を行っている 学校数	全学校数	特定の 学年・学級 の臨時休業 を行っている 学校数	学校全体の 臨時休業 を行っている 学校数	全学校数	特定の 学年・学級 の臨時休業 を行っている 学校数	学校全体の 臨時休業 を行っている 学校数	全学校数
1 北海道	1校 2.6%	0校 0.0%	38校	158校 16.3%	14校 1.4%	972校	64校 11.5%	8校 1.4%	558校	53校 23.9%	5校 2.3%	222校	0校 4.2%	2校 2.8%	72校	279校 15.0%	29校 1.6%	1,862校
2 青森県	0校 0.0%	0校 0.0%	2校	9校 6.1%	3校 3.4%	261校	2校 1.3%	2校 1.3%	149校	6校 8.7%	0校 0.0%	69校	0校 0.0%	0校 0.0%	20校	24校 4.8%	11校 2.2%	501校
3 岩手県	0校 0.0%	0校 0.0%	31校	4校 4.1%	2.0%	295校	0校 0.0%	0校 0.0%	149校	0校 0.0%	0校 0.0%	66校	0校 0.0%	0校 0.0%	15校	4校 0.7%	1.4%	556校
4 宮城県	0校 0.0%	0校 0.0%	68校	2校 2.6%	25校 6.9%	362校	2校 1.0%	6校 3.1%	196校	0校 0.0%	2校 2.6%	77校	0校 0.0%	2校 2.6%	26校	4校 0.5%	35校 4.8%	729校
5 秋田県	0校 0.0%	0校 0.0%	2校	12校 6.4%	8校 4.4%	181校	2校 1.0%	6校 3.1%	109校	7校 3.7%	7校 3.7%	51校	0校 0.0%	0校 0.0%	15校	21校 11.2%	21校 11.2%	358校
6 山形県	0校 0.0%	2校 22.2%	9校	4校 1.7%	10校 4.3%	230校	7校 3.0%	4校 1.7%	202校	1校 2.1%	2校 4.3%	47校	0校 0.0%	0校 0.0%	18校	9校 2.3%	21校 5.3%	396校
7 福島県	0校 0.0%	1校 0.9%	106校	21校 5.2%	3.0%	403校	12校 3.0%	5校 2.4%	92校	4校 4.7%	4校 4.7%	86校	0校 0.0%	0校 0.0%	24校	26校 3.1%	22校 2.7%	828校
8 茨城県	0校 0.0%	1校 1.0%	96校	79校 15.3%	4.6%	458校	21校 11.7%	14校 7.6%	213校	14校 7.6%	0校 0.0%	96校	0校 0.0%	0校 0.0%	23校	112校 12.6%	23校 2.6%	886校
9 栃木県	0校 0.0%	0校 0.0%	1校	36校 10.3%	8校 2.3%	349校	13校 3.8%	3校 1.9%	155校	14校 4.0%	1校 0.3%	61校	1校 6.3%	0校 0.0%	16校	64校 11.0%	12校 2.1%	582校
10 群馬県	1校 1.8%	1校 1.6%	62校	41校 13.6%	10校 3.2%	302校	16校 5.3%	3校 1.0%	159校	17校 5.6%	1校 0.3%	64校	2校 3.2%	1校 1.6%	26校	77校 12.6%	16校 2.6%	613校
11 埼玉県	1校 2.4%	0校 0.0%	42校	222校 27.6%	19校 2.2%	804校	73校 17.6%	4校 1.0%	415校	58校 40.3%	0校 0.0%	144校	12校 25.5%	0校 0.0%	47校	366校 25.2%	22校 1.5%	1,452校
12 千葉県	2校 2.5%	2校 2.5%	80校	130校 17.3%	1.7%	753校	40校 11.0%	5校 1.4%	364校	1校 24.4%	0校 0.0%	127校	18.6%	2.3%	43校	211校 15.4%	16校 1.6%	1,367校
13 東京都	3校 3.9%	1校 1.3%	154校	297校 23.5%	0.6%	1,266校	70校 11.3%	0校 0.0%	608校	0校 0.0%	0校 0.0%	186校	0校 0.0%	0校 0.0%	62校	374校 18.4%	15校 0.8%	2,276校
14 神奈川県	0校 0.0%	2校 5.1%	39校	242校 28.4%	18校 2.1%	851校	73校 17.9%	3校 0.7%	407校	12校 22.2%	34校 4.1%	153校	4校 22.1%	2校 4.1%	49校	331校 22.1%	59校 3.9%	1,499校
15 新潟県	0校 0.0%	7校 7.7%	26校	13校 3.2%	3.0%	440校	7校 5.0%	4校 4.7%	222校	3校 3.5%	3校 3.5%	85校	0校 0.0%	9校 9.1%	33校	47校 5.8%	28校 3.5%	806校
16 富山県	0校 0.0%	0校 0.0%	15校	0校 0.0%	2校 2.8%	177校	0校 1.1%	2校 1.3%	75校	1校 0.0%	2校 2.3%	43校	0校 0.0%	0校 0.0%	14校	0校 0.0%	9校 0.9%	324校
17 石川県	0校 0.0%	0校 0.0%	2校	5校 2.5%	7.0%	200校	14校 2.2%	6校 7.2%	83校	6校 13.2%	6校 13.2%	45校	0校 0.0%	0校 0.0%	11校	26校 7.6%	26校 7.6%	341校
18 福井県	0校 0.0%	0校 0.0%	28校	14校 9.7%	2.0%	185校	2校 2.8%	5校 6.8%	76校	4校 5.3%	2校 2.6%	27校	0校 0.0%	0校 0.0%	11校	3校 4.1%	2校 2.6%	327校
19 山梨県	0校 0.0%	0校 0.0%	2校	4校 2.4%	4.2%	170校	1校 1.2%	1校 1.2%	83校	0校 0.0%	0校 0.0%	32校	0校 0.0%	0校 0.0%	13校	5校 1.7%	5校 1.7%	300校
20 長野県	0校 0.0%	0校 0.0%	8校	37校 10.5%	10校 2.8%	352校	8校 2.2%	4校 1.1%	185校	5校 3.8%	1校 0.7%	84校	0校 0.0%	5.3%	19校	48校 7.4%	20校 3.1%	648校
21 岐阜県	2校 3.3%	1校 1.6%	61校	46校 12.8%	1.1%	380校	20校 11.4%	1校 0.6%	176校	17校 25.8%	1.5%	66校	1.5%	0.0%	23校	50校 13.1%	9校 1.2%	686校
22 静岡県	2校 1.2%	1校 0.6%	170校	49校 9.9%	0.8%	493校	4校 0.8%	2校 0.4%	260校	5校 14.7%	5校 14.7%	95校	1校 7.9%	2.6%	38校	78校 7.4%	13校 1.2%	1,056校
23 愛知県	5校 8.9%	0校 0.0%	56校	258校 26.0%	12校 1.2%	964校	64校 15.2%	0校 0.0%	414校	0校 33.1%	3校 23.0%	163校	1校 2.0%	1.0%	40校	389校 23.0%	16校 1.0%	1,637校
24 三重県	0校 0.0%	1校 6.7%	104校	23校 6.7%	0.6%	343校	5校 3.3%	1校 0.7%	150校	3校 5.3%	1校 1.8%	57校	0校 0.0%	0校 0.0%	18校	31校 4.6%	5校 0.7%	672校
25 滋賀県	1校 1.0%	12校 11.4%	105校	54校 24.8%	9.2%	218校	16校 16.7%	5校 5.2%	96校	7校 15.2%	0校 0.0%	46校	1校 6.3%	6.3%	16校	79校 16.4%	38校 7.9%	481校
26 京都府	5校 6.8%	14校 11.4%	44校	141校 40.3%	3.8%	350校	34校 21.3%	3校 1.9%	160校	7校 10.0%	0校 0.0%	70校	3校 13.6%	1校 4.5%	22校	158校 29.1%	17校 2.6%	646校
27 大阪府	3校 1.4%	15校 7.2%	207校	258校 26.5%	10.4%	973校	44校 20.8%	27校 9.7%	453校	9校 17.2%	4校 5.7%	157校	4校 12.2%	8.2%	49校	388校 37.8%	173校 9.4%	1,839校
28 兵庫県	3校 1.2%	2校 2.0%	252校	244校 33.3%	2.9%	732校	11校 3.3%	3校 21.6%	336校	3校 2.0%	2.0%	153校	7校 15.2%	4.3%	46校	278校 24.9%	42校 3.8%	1,519校
29 奈良県	4校 4.5%	5校 4.5%	110校	62校 29.8%	2.7%	188校	4校 2.9%	4校 2.9%	97校	13校 31.7%	2.4%	41校	0校 10.0%	0.0%	10校	110校 24.7%	13校 3.4%	446校
30 和歌山県	1校 2.7%	0校 0.0%	37校	19校 8.2%	1.3%	233校	3校 5.9%	4校 3.4%	118校	4校 10.5%	0校 0.0%	38校	0校 9.1%	1.1%	11校	31校 7.1%	8校 1.8%	437校
31 鳥取県	0校 0.0%	0校 0.0%	3校	14校 9.9%	11.1%	117校	0校 0.0%	3校 5.8%	52校	0校 0.0%	2校 3.8%	24校	0校 0.0%	0校 0.0%	9校	14校 18.8%	10校 13.6%	205校
32 島根県	0校 0.0%	4校 6.3%	63校	87校 8.1%	44.2%	197校	18校 34.8%	32校 19.6%	92校	17校 45.9%	0校 0.0%	37校	0校 0.0%	0.0%	12校	65校 16.2%	109校 27.2%	401校
33 岡山県	0校 0.0%	0校 0.0%	185校	21校 5.5%	0.5%	380校	8校 2.1%	0校 0.0%	153校	1校 12.7%	1.5%	63校	0校 13.3%	0.0%	15校	39校 4.9%	3校 0.4%	796校
34 広島県	1校 2.2%	0校 0.0%	45校	56校 12.4%	1.8%	451校	12校 8.7%	2校 1.4%	231校	12校 13.2%	3校 3.3%	91校	2校 11.1%	1.1%	18校	91校 10.5%	15校 1.8%	836校
35 山口県	0校 0.0%	0校 0.0%	26校	15校 5.4%	8.7%	276校	6校 4.3%	2校 1.4%	140校	1校 3.6%	2校 6.0%	56校	0校 7.7%	0.0%	13校	22校 4.3%	29校 5.7%	511校
36 徳島県	0校 0.0%	0校 0.0%	77校	0校 0.0%	10校 6.0%	166校	0校 0.0%	9校 5.3%	82校	0校 0.0%	3校 3.8%	34校	0校 0.0%	0.0%	11校	0校 0.0%	22校 13.6%	370校
37 香川県	1校 1.4%	2校 2.7%	74校	13校 8.6%	1.3%	152校	4校 6.1%	0校 0.0%	66校	1校 3.3%	1校 3.3%	30校	0校 0.0%	0.0%	8校	0校 0.0%	5校 1.5%	330校
38 愛媛県	0校 0.0%	0校 0.0%	45校	0校 0.0%	2.2%	271校	6校 3.2%	4校 2.2%	126校	3校 5.7%	0校 0.0%	53校	0校 0.0%	0.0%	10校	0校 0.0%	13校 2.6%	505校
39 高知県	0校 0.0%	1校 10.0%	10校	11校 10.0%	1.1%	185校	4校 4.0%	0校 0.0%	101校	0校 0.0%	0.0%	37校	0校 0.0%	0.0%	14校	5校 1.4%	0.0%	347校
40 福岡県	2校 7.1%	1校 3.6%	28校	248校 34.9%	2.7%	710校	105校 31.8%	9校 2.7%	330校	33校 6.5%	8校 1.5%	124校	12校 5.3%	2.3%	38校	400校 32.5%	39校 3.2%	1,230校
41 佐賀県	0校 0.0%	0校 0.0%	5校	7校 1.2%	2.0%	161校	4校 4.7%	0校 0.0%	85校	0校 0.0%	0.0%	43校	0校 0.0%	2.0%	10校	23校 7.0%	2校 0.7%	304校
42 長崎県	0校 0.0%	0校 0.0%	20校	21校 6.7%	1.0%	315校	9校 5.4%	2校 0.6%	166校	1校 3.5%	0.0%	57校	0.0%	5.9%	17校	36校 6.3%	9校 0.9%	575校
43 熊本県	0校 0.0%	0校 0.0%	23校	46校 13.9%	3.0%	332校	11校 6.7%	3校 2.5%	163校	1校 11.5%	1.9%	52校	13.0%	4.3%	23校	66校 11.1%	16校 2.7%	593校
44 大分県	0校 0.0%	3校 3.8%	84校	3校 3.8%	2.0%	248校	9校 7.8%	1校 0.8%	118校	0校 0.0%	4.3%	41校	0.0%	6.3%	16校	12校 8.3%	12校 8.3%	507校
45 宮崎県	0校 0.0%	0校 0.0%	12校	7校 3.1%	5.7%	229校	0校 0.0%	1校 0.8%	122校	6校 16.7%	5.6%	36校	2校 5.6%	23.1%	13校	13校 3.2%	19校 4.6%	412校
46 鹿児島県	0校 0.0%	0校 0.0%	57校	19校 3.9%	1.0%	488校	6校 2.9%	0校 0.0%	205校	8校 11.8%	0.0%	68校	0校 0.0%	0.0%	16校	33校 4.0%	5校 0.6%	834校
47 沖縄県	6校 0.7%	4校 4.4%	137校	6校 16.6%	8.1%	259校	2校 18.4%	1.1%	141校	10校 16.9%	0.0%	59校	0.0%	4.8%	21校	81校 13.1%	31校 4.9%	617校
全国平均	41校 1.4%	75校 2.6%	2,851校	3,044校 16.2%	653校 3.5%	18,802校	1,038校 11.4%	219校 2.4%	9,140校	510校 14.3%	127校 3.6%	3,556校	40校 8.6%	3.7%	1,094校	4,727校 13.3%	1,114校 3.1%	35,443校

臨時休業等の非常時における 端末の持ち帰り学習に関する準備状況調査 (令和4年1月末時点)

令和4年2月
文部科学省初等中等教育局
学校デジタル化プロジェクトチーム

臨時休業等の非常時における端末の持ち帰り学習の準備状況（令和4年1月末時点）

【調査の概要】

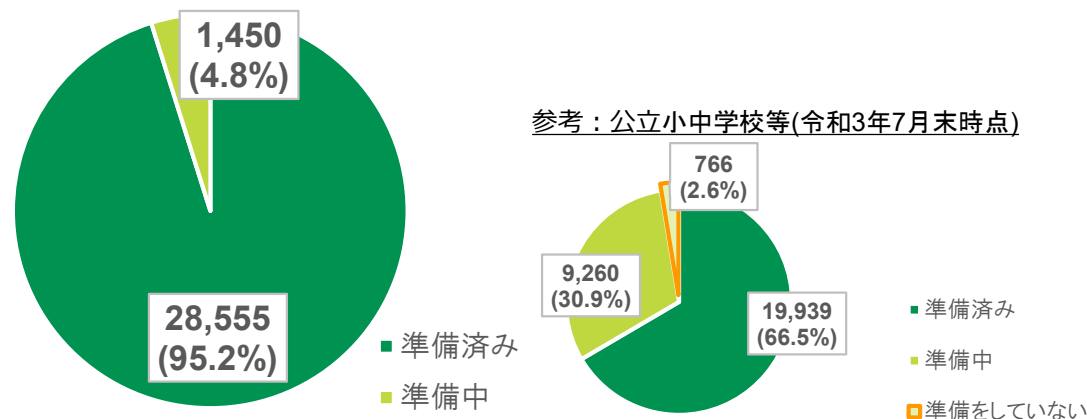
- 公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）及び特別支援学校（小学部・中学部）の端末の持ち帰り学習の準備状況について、教育委員会を通じてすべての公立小中学校等について調査を実施。（令和4年1月末時点）
- 対象自治体等数：1,811自治体等 ※「自治体等」とは都道府県、市区町村、一部事務組合を含む公立の義務教育段階の学校設置者
- 対象学校数：小学校等（小学校、義務教育学校第1学年～第6学年、特別支援学校小学部）19,816校、
中学校等（中学校、義務教育学校第7学年～第9学年、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部）10,189校

全国の公立の小中学校等の95.2%（小学校等の95.2%、中学校等の95.2%）が端末の持ち帰りの準備済みと回答。

【非常時の端末の持ち帰り学習の準備状況（学校数）】

【小中学校等（令和4年1月末時点）】

	準備済みの学校	準備中の学校	合計
合計	28,555 (95.2%)	1,450 (4.8%)	30,005
小学校等	18,856 (95.2%)	960 (4.8%)	19,816
中学校等	9,699 (95.2%)	490 (4.8%)	10,189



【「準備済み」を選択した学校のうち、非常時に自宅等の通信環境が整っていない児童生徒に対する代替手段（学校数）（重複回答あり）】

【小中学校等（令和4年1月末時点）】

	ルータ等の貸出し	当該児童生徒のみ登校	その他(※)	「準備済み」を選択した学校数
合計	20,682 (72.4%)	11,975 (41.9%)	1,587 (5.6%)	28,555
小学校等	13,690 (72.6%)	7,878 (41.8%)	1,044 (5.5%)	18,856
中学校等	6,992 (72.1%)	4,097 (42.2%)	543 (5.6%)	9,699

※「その他」を選択した学校の主な理由：

- ・ネットワークを介さずにオフラインで使用できるコンテンツを活用する
- ・低学年では紙の教材を活用する 等

【「準備中」を選択した学校の主な理由】

- ・端末の運用支援に関して教育委員会からのサポートが十分でない。
- ・持ち帰りについて一部の保護者の同意・理解を得られていない。
- ・該当校が極小規模校であるため、感染リスク等の低さを考慮し、登校を前提としている。
- ・該当校が特別支援学校であり、障害の特性を踏まえ持ち帰りを実施しない。

臨時休業等の非常時における端末の持ち帰り学習の準備状況（令和4年1月末時点）

都道府県名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
都道府県名		合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
合計	総学校数	30,005	1,645	444	474	602	320	353	664	744	538	500	1298	1191	1991	1354	728	280	313	283
	準備済みの総学校数	28,555	1,602	360	371	506	285	290	664	732	534	469	1298	1091	1983	1348	638	266	313	270
	準備中の総学校数	1,450	43	84	103	96	35	63	0	12	4	31	0	100	8	6	90	14	0	13
	準備済み率	95.2%	97.4%	81.1%	78.3%	84.1%	89.1%	82.2%	100.0%	98.4%	99.3%	93.8%	100.0%	91.6%	99.6%	99.6%	87.6%	95.0%	100.0%	95.4%
小学校	学校数	19,816	1027	278	310	386	196	247	429	493	366	320	843	790	1323	898	469	191	215	196
	準備済み	18,856	1005	226	240	327	179	204	429	487	363	304	843	734	1318	893	404	182	215	185
	準備中	960	22	52	70	59	17	43	0	6	3	16	0	56	5	5	65	9	0	11
	準備済み率	95.2%	97.9%	81.3%	77.4%	84.7%	91.3%	82.6%	100.0%	98.8%	99.2%	95.0%	100.0%	92.9%	99.6%	99.4%	86.1%	95.3%	100.0%	94.4%
中学校	学校数	10,189	618	166	164	216	124	106	235	251	172	180	455	401	668	456	259	89	98	87
	準備済み	9,699	597	134	131	179	106	86	235	245	171	165	455	357	665	455	234	84	98	85
	準備中	490	21	32	33	37	18	20	0	6	1	15	0	44	3	1	25	5	0	2
	準備済み率	95.2%	96.6%	80.7%	79.9%	82.9%	85.5%	81.1%	100.0%	97.6%	99.4%	91.7%	100.0%	89.0%	99.6%	99.8%	90.3%	94.4%	100.0%	97.7%

都道府県名		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
都道府県名		山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県
合計	総学校数	274	578	580	813	1433	527	342	566	1516	1160	315	375	193	316	560	729	443	267	234
	準備済みの総学校数	274	518	580	806	1358	509	302	566	1516	1160	298	318	191	255	560	714	420	267	234
	準備中の総学校数	0	60	0	7	75	18	40	0	0	0	17	57	2	61	0	15	23	0	0
	準備済み率	100.0%	89.6%	100.0%	99.1%	94.8%	96.6%	88.3%	100.0%	100.0%	100.0%	94.6%	84.8%	99.0%	80.7%	100.0%	97.9%	94.8%	100.0%	100.0%
小学校	学校数	180	373	382	523	992	360	232	379	1016	778	202	244	129	212	393	474	289	175	160
	準備済み	180	334	382	518	945	347	193	379	1016	778	192	206	127	170	393	463	273	175	160
	準備中	0	39	0	5	47	13	39	0	0	0	10	38	2	42	0	11	16	0	0
	準備済み率	100.0%	89.5%	100.0%	99.0%	95.3%	96.4%	83.2%	100.0%	100.0%	100.0%	95.0%	84.4%	98.4%	80.2%	100.0%	97.7%	94.5%	100.0%	100.0%
中学校	学校数	94	205	198	290	441	167	110	187	500	382	113	131	64	104	167	255	154	92	74
	準備済み	94	184	198	288	413	162	109	187	500	382	106	112	64	85	167	251	147	92	74
	準備中	0	21	0	2	28	5	1	0	0	0	7	19	0	19	0	4	7	0	0
	準備済み率	100.0%	89.8%	100.0%	99.3%	93.7%	97.0%	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	93.8%	85.5%	100.0%	81.7%	100.0%	98.4%	95.5%	100.0%	100.0%

都道府県名		38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
都道府県名		愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
合計	総学校数	420	316	1083	267	523	534	402	380	741	396
	準備済みの総学校数	420	292	1062	265	431	534	402	325	612	346
	準備中の総学校数	0	24	21	2	92	0	0	55	129	50
	準備済み率	100.0%	92.4%	98.1%	99.3%	82.4%	100.0%	100.0%	85.5%	82.6%	87.4%
小学校	学校数	281	200	731	169	336	352	266	242	512	257
	準備済み	281	182	715	168	272	352	266	208	420	223
	準備中	0	18	16	1	64	0	0	34	92	34
	準備済み率	100.0%	91.0%	97.8%	99.4%	81.0%	100.0%	100.0%	86.0%	82.0%	86.8%
中学校	学校数	139	116	352	98	187	182	136	138	229	139
	準備済み	139	110	347	97	159	182	136	117	192	123
	準備中	0	6	5	1	28	0	0	21	37	16
	準備済み率	100.0%	94.8%	98.6%	99.0%	85.0%	100.0%	100.0%	84.8%	83.8%	88.5%

高等学校における学習者用コンピュータの 整備状況について (令和4年度見込み)

令和4年2月
文部科学省初等中等教育局
修学支援・教材課

高校の1人1台端末整備に向けた取組について

(1) 整備に向けた対応策

① 高校端末の整備に向けた通知の発出

「GIGAスクール構想における高等学校の学習者用コンピュータ端末の整備の促進について」

(令和3年12月27日付け文部科学省初等中等教育局長通知)

・高校の端末整備にあたり、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用等を通じた整備の加速を要請。

② 文部科学大臣・デジタル大臣からのメッセージの発信

「高等学校における1人1台端末の環境整備について」(令和4年1月11日)

・高校の1人1台端末環境の重要性や早期整備に向けた促進についてのメッセージを発信。

(1月上旬に、整備途上自治体の知事等へ個別に整備促進を要請)

(2) 今後の方向性

- 令和4年度中に、すべての都道府県(政令指定都市含む)において、令和4年度1年生の1人1台環境整備が完了予定。
- 令和6年度までに、学年進行による整備を進める自治体も含め、全学年の1人1台環境整備が完了予定。

公立高校における端末の整備状況について（令和4年度当初見込み）

都道府県名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
高等学校	学校数	192	54	71	69	43	42	79	93	60	59	139	121	187	137	83	39	43	25
	生徒数	73,909	22,492	22,090	37,144	18,248	18,315	35,815	52,566	35,278	33,046	103,611	89,454	128,123	115,116	38,275	20,106	18,890	14,555
	公費整備台数 (PC教室除く)	15,281	22,492	15,980	15,353	18,248	17,418	4,253	7,911	35,278	33,825	13,242	14,399	27,543	31,992	38,275	20,562	18,890	14,787
	PC教室分台数	18,461	0	4,340	8,169	2,850	0	5,819	6,748	0	4,676	15,073	7,998	7,739	9,130	4,616	2,499	0	0
	BYOD端末台数	20,499	0	0	2,524	0	0	12,830	33,745	0	0	25,398	920	44,805	37,597	0	0	0	0
	合計台数	54,241	22,492	20,320	26,046	21,098	17,418	22,902	48,404	35,278	38,501	53,713	23,317	80,087	78,719	42,891	23,061	18,890	14,787
	台数/人(%)	73.4%	100.0%	92.0%	70.1%	100.0%	95.1%	63.9%	92.1%	100.0%	100.0%	51.8%	26.1%	62.5%	68.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

都道府県名		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
高等学校	学校数	27	82	63	110	147	57	46	48	170	135	33	32	24	36	51	81	57	28
	生徒数	14,931	42,682	38,292	55,131	112,652	33,712	29,034	32,907	110,253	84,950	21,805	18,605	11,175	14,068	32,006	40,259	20,872	15,387
	公費整備台数 (PC教室除く)	5,325	20,045	38,292	10,322	51,969	14,185	3,103	4,351	110,253	38,854	967	18,605	1,469	1,850	3,673	1,640	23,000	15,387
	PC教室分台数	1,967	5,577	0	7,215	10,353	8,243	4,030	2,967	0	6,344	4,358	3,312	2,343	2,460	4,815	6,829	2,481	0
	BYOD端末台数	5,124	24,026	0	3,450	0	11,650	10,187	11,536	0	26,320	7,068	0	3,507	4,540	18,844	34,446	0	0
	合計台数	12,416	49,648	38,292	20,987	62,322	34,078	17,320	18,854	110,253	71,518	12,393	21,917	7,319	8,850	27,332	42,915	25,481	15,387
	台数/人(%)	83.2%	100.0%	100.0%	38.1%	55.3%	100.0%	59.7%	57.3%	100.0%	84.2%	56.8%	100.0%	65.5%	62.9%	85.4%	100.0%	100.0%	100.0%

都道府県名		37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
高等学校	学校数	29	53	36	94	36	56	50	40	36	61	66
	生徒数	17,379	24,608	10,909	65,565	16,946	24,054	25,861	20,188	20,993	23,622	41,886
	公費整備台数 (PC教室除く)	8,502	24,608	10,909	28,125	18,080	23,186	27,871	20,188	6,327	12,776	15,876
	PC教室分台数	2,113	0	0	4,032	0	0	789	3,851	4,378	4,967	10,502
	BYOD端末台数	1,398	0	0	0	0	0	0	0	7,299	0	385
	合計台数	12,013	24,608	10,909	32,157	18,080	23,186	28,660	24,039	18,004	17,743	26,763
	台数/人(%)	69.1%	100.0%	100.0%	49.0%	100.0%	96.4%	100.0%	100.0%	85.8%	75.1%	63.9%

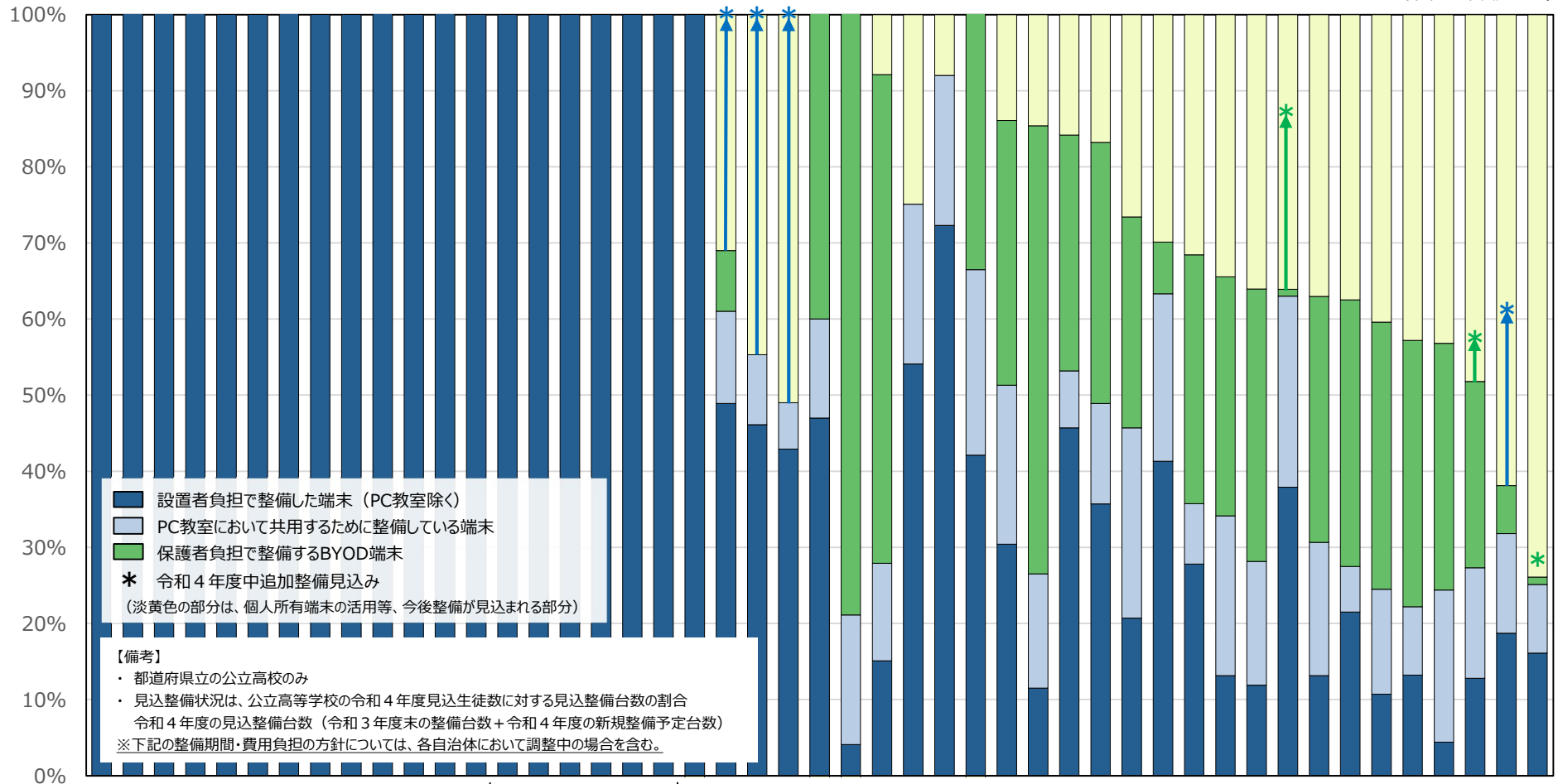
指定都市名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
高等学校	学校数	7	4	3	2	9	9	2	2	1	14	11	2	8	1	7	1	4	2
	生徒数	6,400	2,826	2,881	1,908	7,864	4,304	1,117	1,735	1,142	12,006	5,175	760	5,825	442	6,658	596	3,695	1,622
	公費整備台数 (PC教室除く)	340	1,050	184	0	610	1,610	1,117	84	45	714	160	720	810	30	500	596	3,695	1,622
	PC教室分台数	804	691	218	267	1,887	1,546	169	282	46	1,957	1,378	180	1,711	64	831	0	0	0
	BYOD端末台数	1,660	0	2,250	1,908	970	2,057	0	560	0	2,480	3,583	0	1,943	160	4,471	0	0	0
	合計台数	2,804	1,741	2,652	2,175	3,467	5,213	1,286	926	91	5,151	5,121	900	4,464	254	5,802	596	3,695	1,622
	台数/人(%)	43.8%	61.6%	92.1%	100.0%	44.1%	100.0%	100.0%	53.4%	8.0%	42.9%	99.0%	100.0%	76.6%	57.5%	87.1%	100.0%	100.0%	100.0%

※都道府県・指定都市立の公立学校のみ。BYOD（Bring Your Own Device）は、家庭から自己の端末を持ち込むことを表す。

※PC教室の台数を含めると100%を超える自治体がある。また、100%に満たない自治体であっても、令和4年度中に追加整備を予定している自治体がある。

公立高校における端末の整備状況（見込み）について（都道府県別）

（令和4年度見込み）

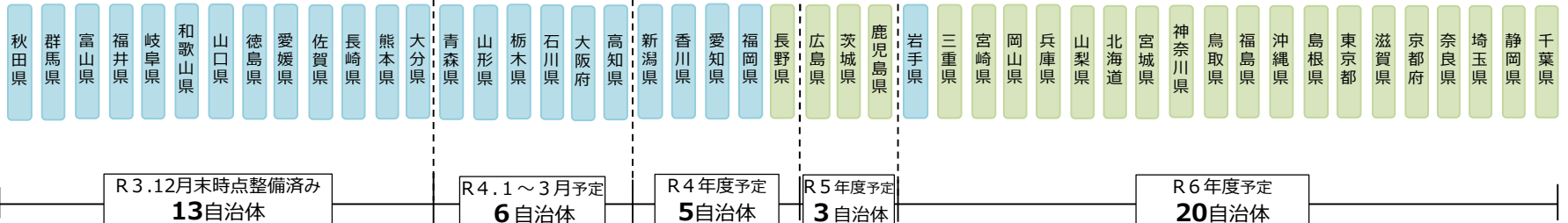


費用負担

設置者負担を原則
24自治体

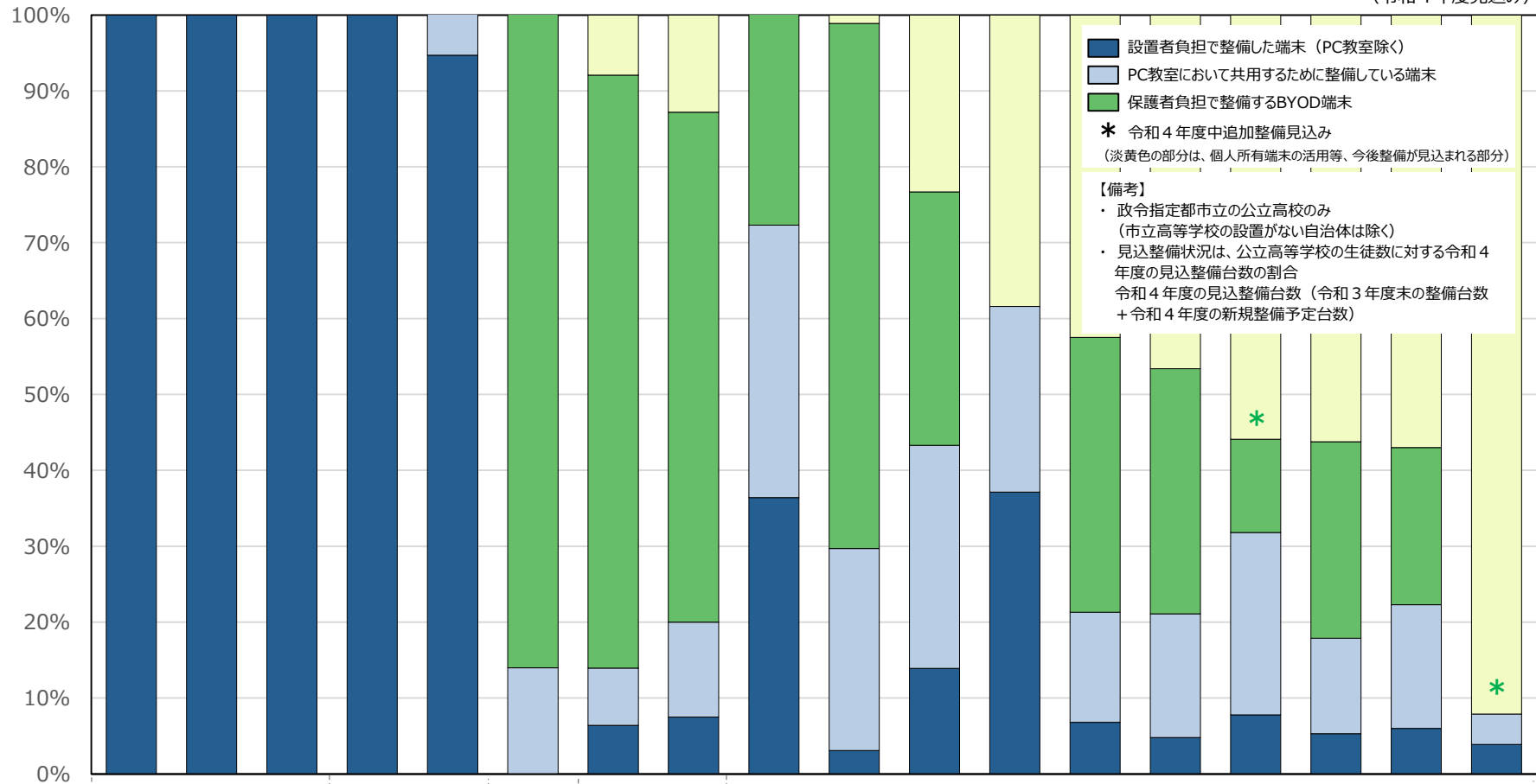
保護者負担を原則
23自治体

整備期間



公立高校における端末の整備状況（見込み）について（政令指定都市別）

（令和4年度見込み）



■ 設置者負担で整備した端末（PC教室除く）
 ■ PC教室において共用するために整備している端末
 ■ 保護者負担で整備するBYOD端末
 * 令和4年度中追加整備見込み
 （淡黄色の部分は、個人所有端末の活用等、今後整備が見込まれる部分）

【備考】
 ・ 政令指定都市立の公立高校のみ
 （市立高等学校の設置がない自治体は除く）
 ・ 見込整備状況は、公立高等学校の生徒数に対する令和4年度の見込整備台数の割合
 令和4年度の見込整備台数（令和3年度末の整備台数 + 令和4年度の新規整備予定台数）

費用負担
 設置者負担を原則
 5自治体
 保護者負担を原則
 13自治体

学校数

北九州市	福岡市	熊本市	新潟市	堺市	千葉市	さいたま市	広島市	川崎市	京都市	神戸市	仙台市	岡山市	静岡市	横浜市	札幌市	名古屋市	浜松市
1	4	2	2	2	2	3	7	9	11	8	4	1	2	9	7	14	1

整備期間

R3.12月末時点整備済み 3自治体	R4.1~3月予定 2自治体	R4年度予定 1自治体	R5年度予定 2自治体	R6年度予定 10自治体
-----------------------	-------------------	----------------	----------------	-----------------

やむを得ず登校できない児童生徒へのICTを活用した学習指導等

自治体の事例

「やむを得ず登校できない児童生徒へのICTを活用した学習指導等を行うためのチェックリスト」に関する参考資料として、GIGA StuDX推進チームで情報収集した自治体の事例を紹介します。



自治体等	概要	1. ICTを活用した学習指導等の実施	2. 学校と自宅等のICT環境の整備
茨城県 つくば市	学校ICT教育に関する資料等が掲載されています。「運用の手引き」や「ICT教育活用実践事例集」「持ち帰りの手引き」「オンライン学習の手引き」等がPDFで示されており、すぐに参考にすることができます。	◎	○
群馬県	教職員に向けたポータルサイトです。FAQや活用のイメージ作り、研修等様々な情報を得ることができます。また、活用事例や有識者が対談しているWebセミナー動画も視聴することができます。	○	
埼玉県	授業を行う上で必要なアプリケーションが3 OS毎に明示してあるため、すべての自治体で活用が可能です。各教科等で豊富な実践例が紹介されていて、指導案が略案形式で見やすいため、ポイントが明確化されすぐにも活用できます。	○	
更新 (1月12日) 埼玉県 さいたま市	令和3年度の2学期開始にあたり、コロナ禍において、自宅でも学校でも選択して授業が受けられる「ハイブリッド授業」を実施しました。教育委員会による情報発信や、教師同士の情報交換、教員研修をととして取組を進めました。	◎	○
更新 (2月4日) 東京都 新宿区	新宿区は、ICT端末の活用方法の研修等を実施してきた上で、平常時より、家庭への端末の持ち帰りを実施しています。令和4年1月の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、分散登校とオンラインによる学習指導を取り入れ、家庭学習の支援を円滑に実施することができました。	◎	○
東京都 墨田区	ICT端末の基本的な使い方やルール、保護者へのお便りなど、多くの資料が掲載されています。「タブレット授業・家庭学習イメージ図」なども参考になります。墨田区内の学校の取組も紹介されています。	○	○
東京都 世田谷区	世田谷区が考えるGIGAスクール構想を「1人1台のタブレットを活用した新たな学び」として示しています。児童生徒や保護者の方への資料がPDFや動画で紹介されています。	○	○
神奈川県 相模原市	GIGAスクール構想を相模原市としての考え方や留意点、目標等が、1冊のハンドブックにまとめられています。各教科等におけるICT活用のポイントも記載されています。	○	○
新潟県 新潟市	iOSのアプリケーションが、活用場面や種類別に分かりやすくまとめられています。また、教科ごとの実践例もまとめられています。地域や保護者向けの文書、ICT端末貸与や利用に関するQ&Aが掲載されています。	◎	○
長野県	授業におけるICT端末の活用や、3 OS対応のスタートガイド・活用ガイドが紹介されています。2つのガイドは、PDF資料と2次元コード資料で構成されており、カメラから読み込んですぐに資料を確認することができます。	○	
更新 (2月4日) 大阪府 枚方市	枚方市では、新型コロナウイルス感染症拡大状況下における「子供たちの学びを止めない」ための取組として、令和4年1月より、授業のオンライン配信が自宅等でも受けられる「ハイブリッド型授業」を実施しています。	◎	○
岡山県	教職員に必要なICT活用指導力に関する31のチェック項目があり、各研修は動画とPDF資料の1セットで構成されています。動画の再生時間は約10～20分です。	○	
山口県	クラウドサービスの基本的な操作方法に関する動画や、研修プログラムが多数掲載されています。各コンテンツは自己研修や校内研修の素材としてすぐに使える状態にまとまっているため、教育委員会や学校でニーズに合わせて活用できます。	○	○
熊本県	学校や研修を主導する教師に向けて、研修プログラムの組み立て方や事例などを紹介しています。研修計画を立てる際に役立つ情報が研修用ガイドという形で冊子形式にまとまっています。	○	◎
熊本県 熊本市	オンラインによる学習指導を行うために、教師に向けて、「オンライン授業のスムーズステップ」「授業モデル」が紹介されています。また、授業の事後アンケートでは、実施した内容や子供や保護者の感想も紹介されています。	○	○
大分県	オンラインによる学習指導の実施に向けたウェブサイトを構築し、授業のモデル例を示した資料や、アプリケーションの操作方法の動画などが整理して掲載されています。	○	○
鹿児島県	ICT端末の活用について、教職員、子供たち、保護者に必要な情報が揃っています。「しら・とる・つく・とる」を合言葉にした分かりやすい研修資料、そして3 OSの活用に関する情報等について豊富な事例が掲載されています。	○	

※ 参考資料では、チェックリストを確認する際に参考となる事例に○、これから検討する際に参考となる事例に◎を付けています。また、1. ICTを活用した学習指導等の実施については、やむを得ず登校できない状況を踏まえ、端末の持ち帰り等を想定した基本的な考え方や事例等、2. 学校と自宅等のICT環境の整備については、自治体としての事例という観点で整理しています。

つくば市

つくば市の学校ICT教育に関する資料等が掲載されています。「運用の手引き」や「ICT教育活用実践事例集」「持ち帰りの手引き」「オンライン学習の手引き」等がPDFで示されており、すぐに参考にすることができます。

アクセス方法

- 「つくば市 GIGA」で検索をします。「つくば市GIGAスクール構想 つくば市先進的ICT教育」を選択します。
- 「つくば市GIGAスクール構想」「ICT教育活用実践事例集」「つくば市ICT教育の歩み」「オンライン学習で学びが深まる」等の項目があります。



ウェブページ内

- 実践事例等がPDFで示されており、ダウンロードすることができます。
- 「オンライン学習で学びが深まる」では、学習者用端末Q&Aやオンライン学習を行うための様々なマニュアル等が示されており、ダウンロードすることができます。



内容

- 「PC持ち帰り学習の手引き」や「端末利用啓発リーフレット」等、持ち帰りについての資料が充実しています。
- 「<つくばシームレス教育> オンライン学習の手引き」では、オンライン授業を始めるためのポイントが示されており、ダウンロードすることができます。



URL : <https://www.tsukuba.ed.jp/~ict/>

(令和4年1月現在)



群馬県

教職員に向けたポータルサイトです。FAQや活用のイメージ作り、研修等様々な情報を得ることができます。また、活用事例や有識者が対談しているwebセミナー動画も視聴することができます。

アクセス方法

- 「群馬県 ICT」で検索をします。
- 「G.ICT」というサポートサイトは、1人1台端末の有効な活用に向けて教職員をサポートする内容が書かれています。



ウェブページ内

- 「活用事例」では、群馬県の小学校での研究発表の様子や実践発表会の様子を動画で視聴することができます。
- 「FAQ」は、ICT端末の使い方について項目ごとにまとめられています。



内容

- 活用のための研修ページは、「ICT支援員の役割や業務」「1人1台端末の活用に向けたWebセミナー」等、動画で有識者の対談を視聴することができます。



URL : <https://ict-support.gsn.ed.jp/>



(令和3年7月現在)

埼玉県

授業を行う上で必要なアプリケーションが3 OS毎に明示してあるため、すべての自治体で活用が可能です。各教科等で豊富な実践例が紹介されていて、指導案が略案形式で見やすいため、ポイントが明確化されすぐにでも活用できます。

アクセス方法

- 「埼玉県立総合教育センター」で検索します。
- 埼玉県立総合教育センターウェブページのトップページにある「GIGAスクール構想」時代のICT活用ガイドのバナーをクリックします。



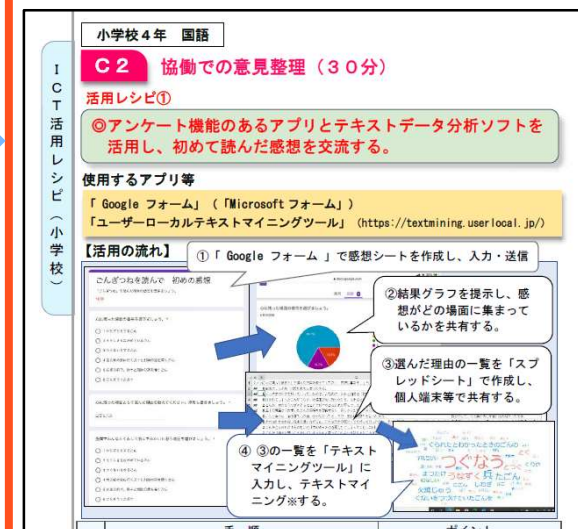
ウェブページ内

- 小・中・高・特の各教科等ごとの例示があります。
- それぞれの校種についてダウンロードが可能です。

- ・ ICT活用ガイド
 - ・ ICT活用レシピ (小学校編)
 - ・ ICT活用レシピ (特別支援学級・通級指導教室編)
 - ・ ICT活用レシピ (中学校編)
 - ・ ICT活用レシピ (ダイジェスト版)
 - ・ 小・中版ICT活用レシピ (一括ダウンロード版)
- ※パソコンやタブレットで閲覧してください

内容

- 指導計画、ICTの活用の流れ等の例示があります。
- ダウンロードや閲覧をする際には、一括ダウンロード版やダイジェスト版など選択することができます。



URL : <https://www.center.spec.ed.jp/>



(令和3年6月現在)

さいたま市

令和3年度の2学期開始にあたり、コロナ禍において、自宅でも学校でも選択して授業が受けられる「ハイブリッド授業」を実施しました。教育委員会による情報発信や、教師同士の情報交換、教員研修をととして取組を進めました。

さいたま市のハイブリッド授業

- さいたま市は緊急事態宣言下でも「子どもたち同士の関わり合い」を大切に、かつ学びを進めるために、「ハイブリッド授業」を実施しました。
- 通常登校を希望する児童生徒も、やむを得ず登校を控える児童生徒も関わり合い、学び合うことができる体制を整備しました。

さいたま市教育委員会

■緊急事態宣言中、テラ株が感染拡大する中での2学期開始

学校における通常授業とタブレット等を活用した自宅での同時双方向のオンライン授業を併せた「ハイブリッド授業」の実施

通常登校を希望する児童生徒には学校での通常授業



登校を控えることを希望する児童生徒には同時双方向のオンライン授業



子どもたち同士の関わり合い

■オンライン授業の実施に係る通信環境

オンライン授業を希望する児童生徒の割合【8月27日（金）現在】
・小学校 約21%・中学校 約12%

8月27日(金) 8月30日(月)・31日(火)に、ネットワークの不具合が発生

9月3日(金)

ネット環境の整備後、理論上は問題ないことを確認。
実際の授業を想定した検証を繰り返しながら、実施が可能であることを再度確認。

8月30日「L-gate」サーバーの増強
8月31日～ ネットワーク不具合等の対応
少しでも通信を妨げる可能性のある要素を洗い出し、1つ1つに対応

◆家庭における端末のカメラ・マイクのOFF、校内での接続端末の制限等のデジタルタレントの実施
◆ネットワーク機器の通信領域の最適化
◆フィルタリングやファイアウォール装置の設定変更
◆学校への個別訪問によるアクセスポイントの設定調整

すべての学校でオンライン授業を実施

ポータルサイトでの情報発信

- 教員専用のポータルサイトでは、情報発信に加えて「今月のチャレンジ」を示し、併せて実践のヒントを共有することで、学校が実践を通してICTを活用した授業に取り組めるようにしています。



ハイブリッド授業 実践のヒント

4 授業者の意識

- 対面の授業を基本にしながら、オンラインの児童生徒にも気を配る意識を持つ。
- オンラインの児童生徒とは「発言します」「以上です」「OKですか？」などの確認発言を多くに行う。
- オンラインの児童生徒の空気感が読めない場合は、双方向のコミュニケーションの場を作る。
- カメラにも時に目を向け、オンラインの児童生徒とも目を合わせる時間を確保する。
- ジェスチャーは普段の2割増しのイメージで行う。

情報交換

- 教員専用の情報交換プラットフォームを作成し、ICT端末の活用について日常的に情報交換を行っています。
- ハイブリッド授業については、校内で実施した研修の資料や実践を通して得られた情報などを教員同士で共有し合っています。



新宿区

新宿区は、ICT端末の活用方法の研修等を実施してきた上で、平常時より、家庭への端末の持ち帰りを実施しています。令和4年1月の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、分散登校とオンラインによる学習指導を取り入れ、家庭学習の支援を円滑に実施することができました。

分散登校とオンラインによる学習指導

- 感染防止対策を行いながら、児童生徒が互いに顔を合わせる機会も大切にできるように、分散登校とオンラインによる学習指導を実施しました。
- 家庭への端末持ち帰りについては、平常時より週末の宿題等での活用を進め、児童生徒が家庭においても端末を活用して学習できるようにしています。



児童・生徒が使用するタブレット端末

小学校・中学校・院内学級では、「Surface Go 2」を貸与し、特別支援学校・特別支援学級(知的障害)では、「iPad (第8世代)」を貸与します。それぞれ、端末用のペン(ホルダー付き)、カバーを配付します。
タブレット端末はLTE通信に対応しており、学校のWi-Fi環境下だけでなく、クラウド版eラーニングサービスが活用できます。

新たに導入したタブレット端末



小学校・中学校
「Surface Go 2」



特別支援学校・学級
「iPad (第8世代)」

端末台数

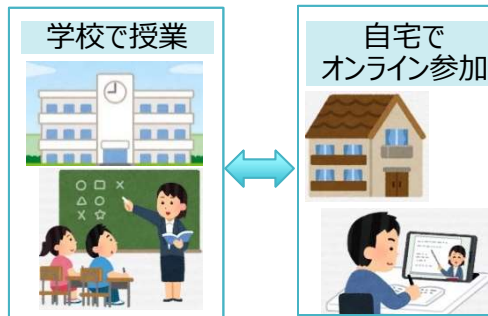


通信環境



分散登校への対応

- 各学級の児童生徒を午前と午後の2つに分けて登校させ、半分程度の児童生徒が教室、ほかの児童は自宅からICT端末でオンライン参加することしました。



オンラインによる学習指導

- オンラインによる学習指導にあたっては、教師が教室と自宅の児童生徒の反応を声に出して伝えるなど、互いの様子がより伝わるように工夫しています。
- 家庭学習では、デジタル教材等の活用をはじめ、児童生徒の取組へのフィードバックを丁寧に行うなどの工夫を行っています。



URL : <https://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000310378.pdf>



(令和4年2月現在)

墨田区

ICT端末の基本的な使い方やルール、保護者へのお便りなど、多くの資料が掲載されています。「タブレット授業・家庭学習イメージ図」なども参考になります。墨田区内の学校の取組も紹介されています。

アクセス方法

- 「墨田区 GIGA」で検索します。
「墨田区GIGAスクール構想について 墨田区公式ウェブサイト」というウェブページです。
- GIGAスクール構想に関する特集ページになっています。



ウェブページ内

- 「使い方とルール」「学校での活用」「家庭での活用」「学校での取り組み紹介」の4項目に分けて表示されています。
- 基本操作の説明やリーフレットなど、PDFファイルで資料として活用できるものが多数あります。



内容

- 学校での活用をイメージしやすいように動画で授業が紹介されています。
- 家庭向けのリーフレットには、保護者からのよくある質問や持ち帰りを想定した家庭での使用ルールについても掲載されています。



URL : https://www.city.sumida.lg.jp/kosodate_kyouiku/kyouiku/school/oshirase/GIGA-school.html



(令和3年7月現在)

世田谷区

世田谷区が考えるGIGAスクール構想を「1人1台のタブレットを活用した新たな学び」として示しています。児童生徒や保護者の方への資料がPDFや動画で紹介されています。

アクセス方法

- 「世田谷区 ICT」で検索します。
- トップページ内の「探究的な学びを推進する1人1台の情報端末の活用」を選択します。

ホーム > 目次から探す > 子ども・教育・若者支援 > 小・中学校 > 学校教育の充実 > 世田谷のICT教育

世田谷のICT教育

ツイート 分類番号 031249

世田谷区立小・中学校 探究的な学びを推進する1人1台の情報端末の活用

世田谷区立小・中学校 探究的な学びを推進する1人1台の情報端末の活用

ツイート 最終更新日 令和3年6月7日 ページ番号 189984

区立小・中学校に通う児童・生徒に一人一台のタブレット端末を配布いたします。児童・生徒が協働的に学び、自ら考え、表現するために使用するものです。ICTを活用した新たな学びを進めてまいります。

世田谷区立小・中学校におけるICTを活用した新たな学び

「せたがや11+」を推進するツールとしてICTを活用します。

ウェブページ内

- タブレット端末に関するFAQや教職員向け、児童生徒向け、保護者向けの配布資料等があります。

学習者用タブレット端末に関するFAQ(よくあるお問い合わせ)

- 1) 学習用タブレット端末に関するFAQ(11月25日)(pdf)
- 2) 学習用タブレット端末に関するFAQ(12月21日)(pdf)
- 3) 学習用タブレット端末に関するFAQ 教えてタブレット先生(2月15日)
- 4) 学習用タブレット端末に関するFAQ 教えてタブレット先生vol.2(3月15日)
- 5) 学習用タブレット端末に関するFAQ 教えてタブレット先生vol.3(3月19日)
- 6) 情報配信システムに関するFAQ「すぐる」ってなあに?(6月7日)

学習者用タブレット端末に関する配布資料

- 1) [1]【先生編】「探究的な学びを推進する1人1台の情報端末の活用～先生編～」(pdf)
- 2) [2]【児童・生徒編】「学習用タブレット端末の利用について～児童・生徒のみなさんへ～」(pdf)
- 3) [3]【保護者編】「学習用タブレット端末の利用について～保護者の皆様へ～」(pdf)
- 4) 学習用タブレット端末の利用についての確認書(pdf)
- 5) 学習用タブレット端末利用マニュアル(パスワードなし)(pdf)

ICTを活用して教育の質的転換を図るための教員人材育成計画(令和3年度～5年度)

ICTを有効に活用して充実した教育活動が行われるよう「ICTを活用して教育の質的転換を図るた

内容

- 児童生徒や保護者からの質問に答えるPDFや保護者向けオンラインセミナーの動画などがあります。

教えて!タブレット先生

学校でも家庭でも使えるようになりますよ

お待たせしました!学校内のネットワークが整って学校と家庭の両方でタブレットが使用できるようになります。いよいよ学校と家庭をつないだ学びが始まります。これからは、課題に向けての情報集めも教科書や資料集、図書館の本から見つけるのかタブレットを使うのか、自分で決めることになります。

Q. いつから学校でも家庭でも使えるようになりますか?
A. 3月中に児童用タブレットが配布され、先生の指示で持ち帰りが始まります。学校でも置き場所や使い方を決めましょう。

Q. アプリの更新は自動で行われますか?
A. いいえ。「mobiApps」というアプリを置いて「インストール」をクリックして更新してください。この作業は毎回行ってください。

みなさんからのQ&A

URL : <https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/005/d00188984.html>

(令和3年7月現在)



相模原市

GIGAスクール構想を相模原市としての考え方や留意点、目標等が、1冊のハンドブックにまとめられています。各教科等におけるICT活用のポイントも記載されています。

アクセス方法

- 「相模原市教育センター」で検索をします。
- トップページ内の「教育の情報化」を選択します。



ウェブページ内

- 相模原市で進めているGIGAスクール構想について1冊のハンドブックにまとめています。その他にもプログラミング教育等のハンドブックがあります。

ここでは、相模原市の教育の情報化についての情報を掲載してあります。

NEW! 相模原市のGIGAスクール構想

さがみはらGIGAスクールハンドブック

PDFファイル 17.1MB
全108ページ
※ダウンロードの際は容量にお気をください

相模原市で進めるGIGAスクール構想は、全てこの1冊にまとめて掲載してあります。詳細な内容についてお知りになりたい方は、ぜひご一読ください。

▼相模原市の情報活用能力育成のためのプランや教材▼

相模原 未来プラン2020
情報モラルハンドブック
情報活用ハンドブック

相模原プログラミング 情報モラルハンド 情報活用ハンドブック

内容

- GIGAスクールの1日の流れや小学校や中学校等における各教科の活用ポイントが記載されています。PDF化されていて、ダウンロードが可能です。

- GIGAスクール開始の準備をしよう
 - 1人1台のタブレット・PCの準備
 - 児童生徒及び教職員のアカウント
 - Classroomの作成
 - アカウントへのログインとClassroomの運用
 - ICTを活用した授業づくりについて
 - GIGAスクールの授業風景
 - GIGAスクールの授業展開のイメージ
 - 授業づくりに関する基本
 - ICTを活用すると何が出来るのか
 - 各教科等におけるICT活用のポイント
- 小学 国語
小学 社会
小学 算数
小学 理科
小学 生活
小学 音楽
小学 図画工作
小学 家庭
小学 体育
小学 外国語
小学 特別の教科 道徳
小学 特別活動



URL : <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kyouikucenter/>

(令和3年6月現在)



新潟市

iOSのアプリケーションが、活用場面や種類別に分かりやすくまとめられています。また、教科ごとの実践例もまとめられています。地域や保護者向けの文書、ICT端末貸与や利用に関するQ&Aが掲載されています。

アクセス方法

- 「NIIGATA GIGA SUPPORT WEB」で検索します。



ウェブページ内

- 最新情報が「お知らせ」で掲載されています。目の健康啓発マンガや持ち帰り活用のすすめ等随時更新されています。また、更新情報の中には、iOSにおけるアプリカタログもまとめられています。
- 他校等の活用事例には、教科ごとの活用事例がまとめられています。



内容

- 「持ち帰り活用」「Q&A」等が動画やPDFにまとめられています。また、保護者向けコンテンツも充実しています。



URL : <https://niigata-giga.info>

(令和3年7月現在)



長野県

授業におけるICT端末の活用や、3 OS対応のスタートガイド・活用ガイドが紹介されています。2つのガイドは、PDF資料と2次元コード資料で構成されており、カメラから読み込んですぐに資料を確認することができます。


アクセス方法

- 「長野県 GIGAスクール」で検索します。「長野県ICT教育推進センター」のページを選択します。
- トップページでは、小中学校や高等学校、市町村教育委員会を支援するメニューを紹介しています。



ウェブページ内

- 授業における活用を子供の活用・教師の活用・子供と教師の活用に分けて内容を紹介しています。
- ページの下部には持ち帰りについてのPDFが掲載されています。



内容

- 項目ごと・3 OSごとに内容が示されたリンク集となっています。
- 2次元コード表もあります。



URL : <https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/kyoshokuin/shiryo/ict.html>



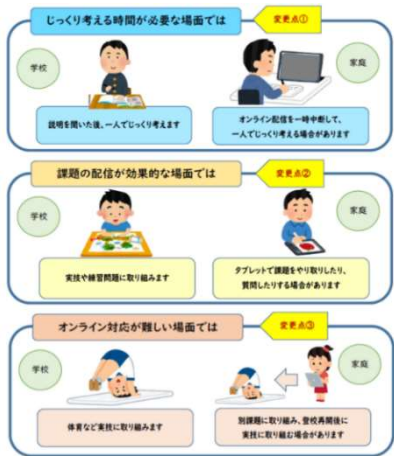
(令和3年7月現在)

枚方市

枚方市では、新型コロナウイルス感染症拡大状況下における「子供たちの学びを止めない」ための取組として、令和4年1月より、授業のオンライン配信が自宅等でも受けられる「ハイブリッド型授業」を実施しています。（令和3年8～9月にも同様の取組を実施）

枚方市のハイブリッド型授業

- 枚方市では、感染拡大している状況を踏まえ、登校している児童生徒にもコロナ不安により家庭で学習する児童生徒にも、学びを止めないための取組としてハイブリッド型授業を実施しています。
- ハイブリッド型授業は、全ての授業の一律配信ではなく、授業のオンライン配信と課題配信を組み合わせた形態で実施しています。



休校措置になった際の対応

- 休校措置になった際も、オンラインでの課題配信等、子供たちの学びを止めないための準備を進めています。

もし休校措置になったら？
※学期開始ではありません 枚方市立第一中学校

① 8:50までにクラスルームのストリームをチェックする
■健康チェックを送信しましょう。
■ストリームに今日やるべきことがアップされるので確認しましょう。

② 8:50 朝の会が始まります！
■クラスルームに入室して、ビデオマークをタップしましょう。先生とMeetでつながります。

③ 9:00 課題をはじめます ※動画より日数が変更されています。
パターン① 3日以内の休校の場合
■クラスルームに復習を中心とした課題がアップされます。
パターン② 4日以上休校の場合
■英・国・数・社・理はクラスルームに授業動画と課題がアップされます。
■その他の教科は課題が出勤される場合があります。
■動画内容を確認して課題に取り組みましょう。

【動画配信の時間割】	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00～	国語	理科	社会	英語	数学
10:00～	社会	英語	数学	国語	理科
11:00～	数学	国語	理科	社会	英語

④ 11:50 終わりの会
■クラスルームに入室して、ビデオマークをタップしましょう。先生とMeetでつながります。
■先生からの連絡をしっかりと聞きましょう。

⑤ 午後から
■他の教科からの課題があれば、午後の時間を使って課題を進めましょう。
■わからないことがあれば、学校へ電話するか、クラスルームで質問しましょう。
(通やりに返信できない場合もあります。あらかじめ確認しておいてください。)

(枚方市立第一中学校ホームページ)

ポータルサイトでの情報発信

- 枚方市教育委員会ICTポータルサイト「GIGAスク！ ひらかた」では、実践事例や動画などの情報発信を行っています。
- 「枚方版ICT教育モデル」では、大切に行っている観点や年間指導計画、実践例などが掲載されています。



URL : <https://sites.google.com/hirakata.osakamanabi.jp/giga-school-hirakata/>



(令和4年2月現在)

岡山県

教職員に必要なICT活用指導力に関する31のチェック項目があり、各研修は動画とPDF資料の1セットで構成されています（ユニット研修）。動画の再生時間は約10～20分です。「教育クラウドの活用」や「校務の情報化」などの内容が掲載されています。

アクセス方法

- 「岡山県 教育の情報化」で検索します。教育委員会＞総合教育センター＞「教育の情報化ユニット研修(GIGA端末導入期編)」の順に進んでいきます。
- 義務教育課のページには「GIGAスクール構想に係る各教科等におけるICT活用事例集」で小学校・中学校別の冊子があります。



ウェブページ内

- ICT機器・教育クラウドアプリの活用から、情報活用能力の育成や情報セキュリティなど、幅広い内容を扱っています。
- 動画の他に資料が閲覧用と印刷用で分けられています。

教育の情報化ユニット研修 <GIGA>	
<input type="checkbox"/> 1 教育の情報化の三本柱をもとに校内の取組を説明できる。	unit 1 教育の情報化を考
<input type="checkbox"/> 2 授業の中で実物投影機を活用できる。	unit 2 大きく映して説明
<input type="checkbox"/> 3 授業の中でフラッシュ型教材を活用できる。	unit 3 一斉指導における
<input type="checkbox"/> 4 タブレット端末の基本操作が分かる。	unit 4 タブレット端末基
<input type="checkbox"/> 5 授業の中で効果的なICT活用ができる。	unit 5 ICTの効果的な活用
<input type="checkbox"/> 6 Chromebookの基本操作が分かる。	unit 6 Google for Educa プ)
<input type="checkbox"/> 7 授業の中でJamboardが使える。	unit 7 ホワイトボードで

内容

- 各ユニットの資料の中でポイントが示されています。アプリケーションのインストールや基本操作から説明があることでオンラインの研修でも取り組みやすいです。
- 動画だけでなく、PDFと組み合わせることで何度も見直すことができます。

Unit ユニット研修 教育の情報化編

05

ICTの効果的な活用を考 (授業づくりと模擬授業、デジ

【ねらい】
授業の中でICTを効果的に活用し、普段の授業に取り入れること

【ポイント】
 ① ICTを効果的に活用した学習

URL : <https://www.pref.okayama.jp/page/683507.html>

(令和3年7月現在)



山口県

ウェブサイト「やまぐちICT新たな学びラボ（通称：YAMA-LABO）」では、クラウドサービスの基本的な操作方法に関する動画や、研修プログラムが多数掲載されています。「LABO」という名前の通り、各コンテンツは自己研修や校内研修の素材としてすぐに使える状態にまとまっているため、教育委員会や学校担当者がニーズに合わせて活用できます。

アクセス方法

- 「山口県教育委員会」で検索します。
- トップページ内の「YAMA-LABO」のバナーを選択します。



ウェブページ内

- 「研修動画・資料」には、校内研修において活用できる研修動画・資料を多数掲載しています。
- 「授業におけるICTの普段づかいに向けて」には、クラウドサービスの活用方法の動画を掲載しています。「ICT活用研修プログラム」として「情報モラル」「教師が使うICT研修」「児童生徒が使うICT研修」の3つの研修プログラムが示されています。



内容

- 研修プログラムの各ページにはスライドが埋め込まれており、大きく提示することでそのまま研修に活用することができます。
- スライドのオプションから読み原稿を表示することもできるようになっています。



URL : <https://www.ysn21.jp/wp2/>

(令和3年7月現在)



熊本県

学校や研修を主導する教員に向けて、研修プログラムの組み立て方や事例などを紹介しています。研修計画を立てる際に役立つ情報が研修用ガイドという形で冊子形式にまとまっています。

アクセス方法

- 「熊本県 教育の情報化」で検索をします。
- 「ICT活用研修パッケージ」以外にも「情報モラル」や「保護者向け資料」等、参考になる情報があります。



ウェブページ内

- 研修用ガイドという形で冊子形式にまとまっており、見やすくなっています。
- 「ここから始めるICTガイド」「情報活用能力育成ガイド」「ICT活用研修ガイド」等各校種及び教育テーマごとのICT活用研修パッケージガイドブック集があります。



内容

- 研究主任がファシリテーターとして推進していくことをねらいとして作られていて、今後の授業づくりの事例としても参考になります。



URL : <https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/list222.html>

(令和3年6月現在)



熊本市

オンラインによる学習指導を行うために必要な情報が掲載されています。教員に向けて、「オンライン授業のスマールステップ」「授業モデル」が紹介されています。また、授業実施後のアンケート結果では、実施した内容や授業を受けた子供、そして保護者の感想も紹介されています。

アクセス方法

- 「熊本市 オンライン授業」で検索をします。
- 教育センターのウェブサイト内には、「オンライン授業」以外にも、1人1台タブレット端末の運用について教員向け、保護者向け、児童生徒向けのリーフレットを掲載し、ICT端末の活用方法が紹介されています。



ウェブページ内

- オンラインによる学習指導を行うために必要なログインの方法やウェブ会議ソフトの使い方が掲載されています。
- 「オンライン授業のスマールステップ」では、授業で行う内容が取り組みやすいものから順に5段階に整理されています。

オンライン授業のスマールステップ (例)

	昼間以外の時間に保護者と一緒にスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間保護者と一緒にスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合	昼間子どもが自分のスマートフォン・タブレット・PC等を使用する場合
ステップ1		・健康観察のカード（健康状態やメッセージ）を ・学校と家庭の連絡手段としてカードでメッセージを送る。	
ステップ2		・健康観察のカード（健康状態やメッセージ）を ・写真カードを送る。	
ステップ3	・健康観察に加え、学習課題やプリントをカードで送り、取り組んだものを保護者と一緒に提出する。 ・写真カードを送る。	・健康観察に加え、 提出する。	・健康観察に加え、 写真カードを送る。
ステップ4			

内容

- オンラインによる学習指導をどのように行ったらよいかイメージしやすい授業モデルが指導案の形式で示されています。

オンライン授業のモデル			
【使用アプリ】 ・ロイノート（授業支援アプリ） ・Zoom（ビデオ会議システム）			
【遠隔授業の流れ】			
主な活動	使用アプリ	活動の内容	活動の様子
1 健康観察を行う。 (10分程度)	ロイノート Zoom	・ロイノートのカードに健康状態を記入し、提出前に提出する。 ・Zoomのビデオ会議で、健康状態を確認する。	
時間を決めて (例) 午前9:00			
学習課題を伝える			
2 課題を説明する (10分程度)	Zoom	・Zoomのビデオ会議を使用して、課題を説明する。画面共有機能を使用することで、デジタル教科書・プレゼンテーションスライド・タブレット端末の画面等を提示することができる。	
時間をかけて取り組む課題 複数の教科を合わせて取り組む課題			

URL : <http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/link/iinkai/online/>



大分県

オンラインによる学習指導の実施に向けたウェブサイトを構築し、授業のモデル例を示した資料や、アプリケーションの操作方法の動画などを整理して公開しています。


アクセス方法

- 「大分県教育委員会」で検索します。
- 「組織でさがす」→「教育機関等」→「教育センター」→「オンライン授業」をクリックします。



ウェブページ内

- オンラインによる学習指導のモデル例、ウェブ会議アプリの操作方法、研修動画が用意されています。
- 研修動画で使用しているスライドデータも公開されています。



内容

- 特に、「遠隔会議アプリケーションを活用したオンライン授業の充実に向けて」のPDF資料は、授業の場面ごとに、使用するアプリの例や指導上の留意点等を整理してまとめているため、実施したい授業の内容に合わせて活用できます。

指導者の動き		
指導・支援内容	zoom機能	指導上の留意点
<p>【オンライン授業前に確認しておくこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必ず事前に、オンライン授業に参加するすべての授業や連携機関があるか確認する(遠隔等が利用できない場合への対応及び変更を考慮しておく) ●ZOOM等、遠隔会議アプリのインストール手順の取組書を配布する。(オンライン授業日を明記し、前1週間程度を準備期間とする) ●授業日での作業が難しい場合は対応を考慮しておく。(教室での準備等が可能な場合、端末等がない場合は学校で授業に参加するなどの対応を考慮される) ●教室の端末等を使用すること等、家庭への協力をお願いする文書を送付する。 <p>【授業中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ZOOM等の画面共有機能を利用して、アプリの操作等を指導する。 ●※アプリの最新の状態にするよう指示する。 	<p>・ミーティングID ・パスワード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●接続確認テスト等を行って、長時間のオンライン授業の慣れを促す。 ●チャット機能などで、「みんなの顔」が確認できること、アバターが変更できることなどを指導させ、「クラス」であることを意識させる。 ●アプリのアップデート方法を説明書に明記するとともに、児童生徒・保護者に確実に伝える。
<p>【前日までに済ませること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遠隔会議アプリのログイン方法や基本的な操作を説明した資料を配布する。 ●児童生徒にIDとパスワードを伝える。 ●※IDとパスワードは、他者に知らせないよう指導する。(授業モデルセッションの観点から、必ず指導する) ●単元の学習計画表を伝える。(メール又は紙送) 	<p>・ミーティングID ・パスワード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●オンライン授業のためのIDとパスワードを伝える。 ●事前に送る資料が印刷して、読み取りしづらく書き込みできないようにする。 ●児童生徒が自分で印刷できない場合、-印刷時にできる場合は紙送する。-急な場合は、要点をまとめた画面共有で提示し、書き取らせる。 ●タブレットにトラブルが起きた際の対応について、あらかじめ授業前日・授業前に説明しておく。 ●「学習計画表」に際し、「学習の手引き」等を参考に、一人一歩ができるようにしておく。 ●※教科用紙がなければ「一歩」ができるようにしておく。

URL : <https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/online-jyugyou.html>



(令和3年8月現在)

鹿児島県

ICT端末の活用について、教職員、子供たち、保護者に必要な情報が揃っています。「しら・とる・つく・とる」を合言葉にした分かりやすい研修資料、そして3 OSの活用に関する情報等について豊富な事例が紹介されています。

アクセス方法

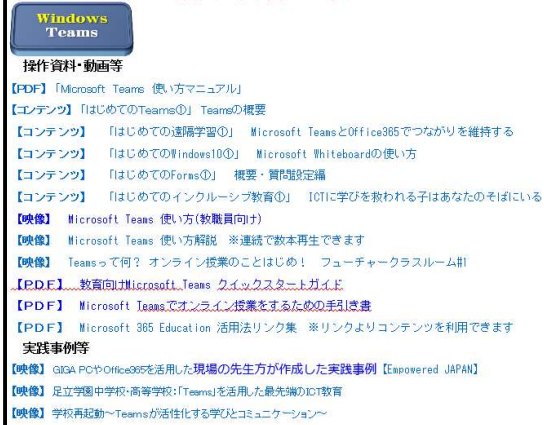
- 「鹿児島県 GIGA」で検索します。「鹿児島県GIGAスクール構想の実現に向けて」というトップページです。
- 下にスクロールするとさまざまな情報のリンクが付いています。



ウェブページ内

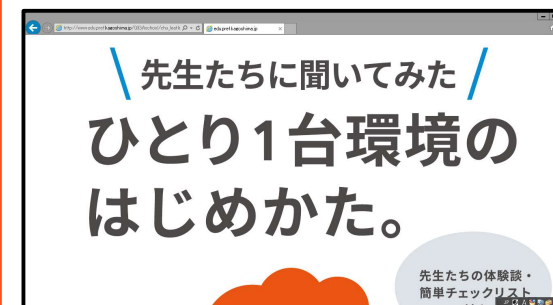
- 3 OSのリンクや研修等について動画や資料が豊富に用意されています。
- 市町村教育行政関係者向け情報には児童生徒のIDカードの発行の手順や、他自治体への参考リンク等が掲載されています。

GIGAスクール 研修用資料(外部リンク)



内容

- 3 OSをはじめとしたさまざまな情報が集約されたハブのような活用が可能です。
- 動画のリンクも豊富なので、教職員の方々の自己研修に活用できます。



URL : <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/GIGAschool/top.html>

